



青森県感染症発生情報 (2019年第32週)

I 第32週の発生動向 (2019/8/5~8/11)

1. 手足口病については、**県内全保健所管内で警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が5週連続で増加しており、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
2. 伝染性紅斑については、**五所川原保健所管内、上十三保健所管内で警報が解除**されましたが、県全体の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. ヘルパンギーナについては、**五所川原保健所管内で警報**が継続しています。
4. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が4週連続で増加しており、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
5. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
6. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型4人でした。

II 第32週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	1	0.08			3	0.20							4	0.06	3
	RSウイルス感染症	7	0.88	9	1.00	31	3.10	4	0.80	1	0.17			52	1.24	31
小児科	咽頭結膜熱			2	0.22	1	0.10	1	0.20					4	0.10	-4
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎			2	0.22	15	1.50	2	0.40	7	1.17			26	0.62	2
	感染性胃腸炎	32	4.00	21	2.33	41	4.10	9	1.80	11	1.83	10	2.50	124	2.95	14
	水痘			3	0.33			2	0.40	1	0.17			6	0.14	0
	手足口病	109	13.63	66	7.33	36	3.60	125	25.00	24	4.00	70	17.50	430	10.24	17
	伝染性紅斑			6	0.67	4	0.40	2	0.40	5	0.83			17	0.40	-16
	突発性発しん	4	0.50			9	0.90	1	0.20	1	0.17			15	0.36	-8
	ヘルパンギーナ	12	1.50	22	2.44	4	0.40	30	6.00	10	1.67	13	3.25	91	2.17	-1
	流行性耳下腺炎			2	0.22	1	0.10	2	0.40					5	0.12	-2
	眼科	急性出血性結膜炎														
流行性角結膜炎												1	1.00	1	0.09	-1
基幹	感染性胃腸炎(ロウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											3	3.00	3	0.50	-3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

ヘルパンギーナ (五類定点把握対象疾患) 第2回

ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に夏場に流行するウイルス性の感染症で、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。病原体はコクサッキーウイルス A 群である場合が多く、38~40℃の急激な発熱と咽頭や軟口蓋の炎症、水疱を特徴とします。一般的に2~4日で解熱し、予後は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎、高熱による熱性けいれんを引き起こすこともあります。

例年、国内での流行は西から東へと推移し、青森県では6~10月にかけて流行しています(図)。現在、青森県では患者数の多い状態が継続しており、今後の発生動向に注意が必要です。

特別な治療法はなく、対症療法のみであり、発熱や脱水に対する治療が中心となります。

予防には手洗い・うがい・咳エチケットが大切です。

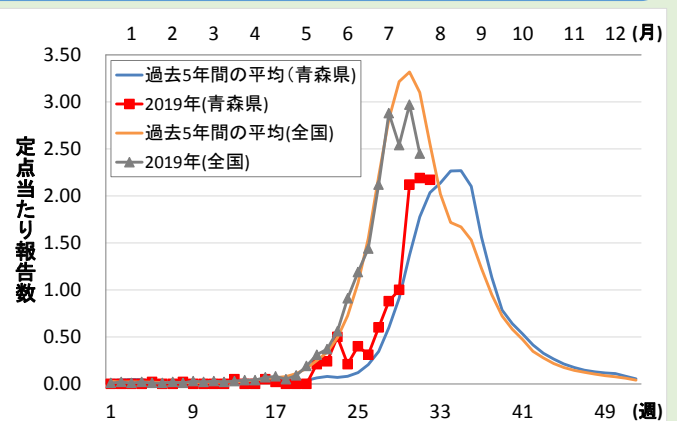


図: 青森県と全国におけるヘルパンギーナ定点当たり報告数 (2019年第1週~2019年第32週)

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [ヘルパンギーナとは\(国立感染症研究所HP\)](#)

ヘルパンギーナとは [国立感染症研究所](#)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、三戸地方1人、上十三1人（2019年計：146人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人（2019年計：25人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：青森市1人、上十三1人（2019年計：25人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第29週～第32週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
29	アメルバ赤痢1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症3人 百日咳2人		腸管出血性大腸菌 感染症1人			
30	腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		侵襲性肺炎球菌感 染症1人	
31	アメルバ赤痢1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	レジオネラ症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	コクシジオイデス症 1人 梅毒1人 百日咳1人		百日咳1人	
32	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 百日咳1人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			百日咳1人	

- ・第31週に上十三保健所管内で百日咳1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第29週～第32週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
29		1	2			
30	1	3	1	1		
31			4	1		
32	1	1	1		1	

- ・第31週に三戸地方保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第31週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	12660	3	54	1744	20	11	312	282	12	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア
累積報告数	1	2	61	15	81	192	116	2	1	26

分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	7	1265	6	516	197	1189	49	565	8	107

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	569	698	27	358	28	2194	294	3	3894	91

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	73	46	10110	2061	671	18

青森県（2019年第1週～第32週までの累計）

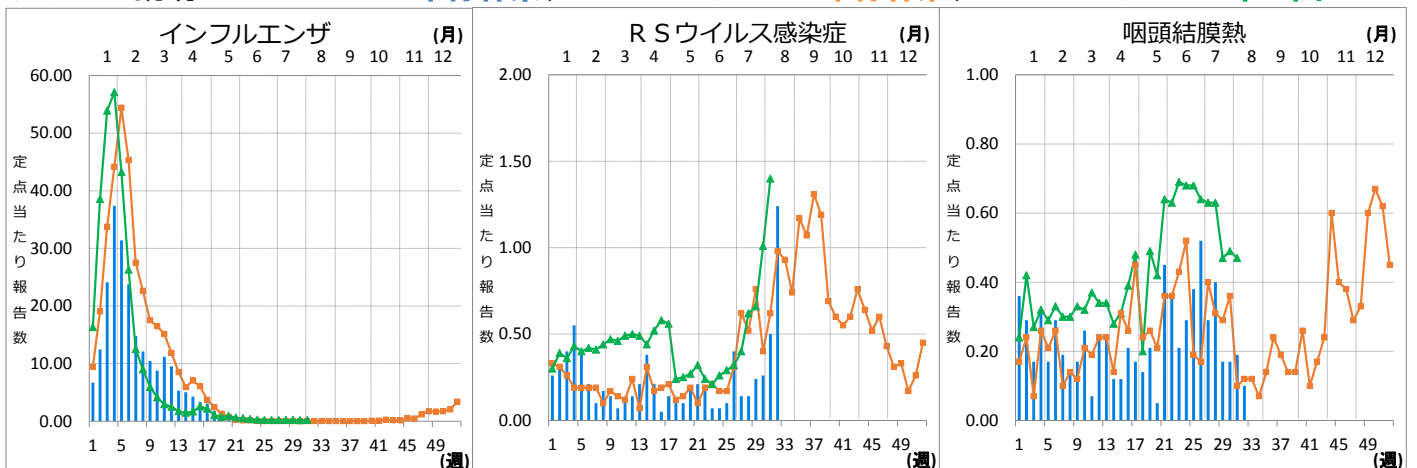
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	コクシジオイデス症	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	146	4	1	1	1	6	8	4	1	25

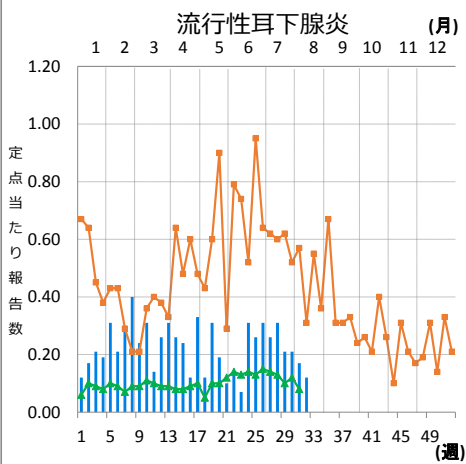
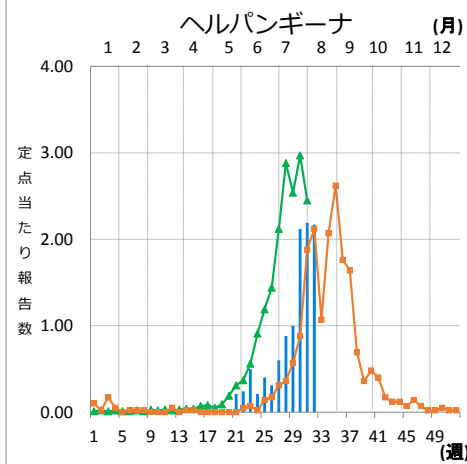
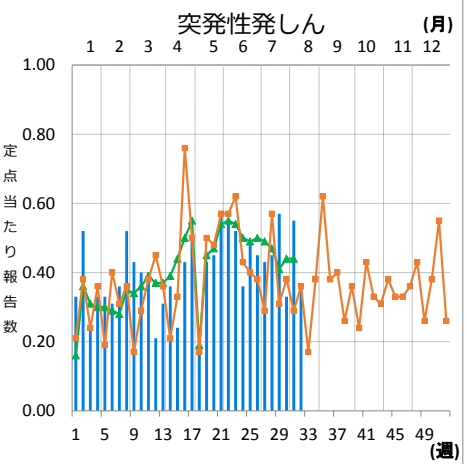
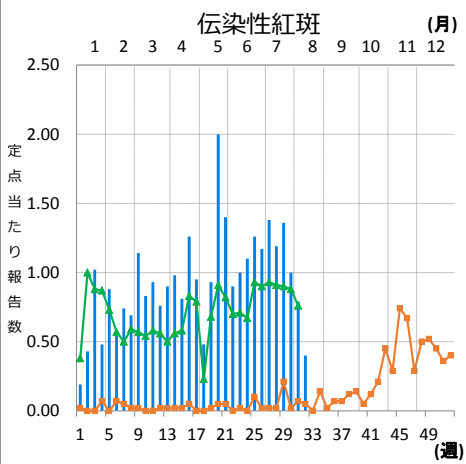
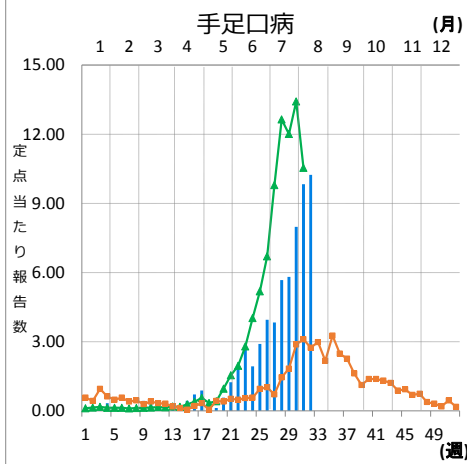
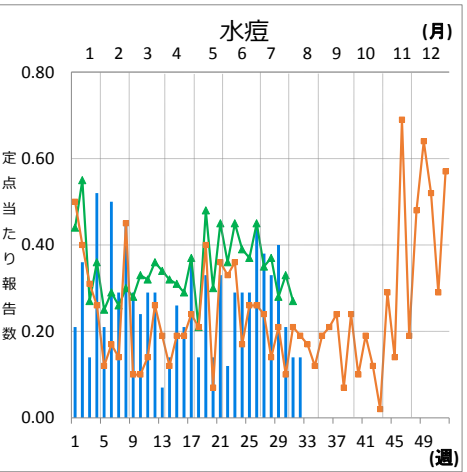
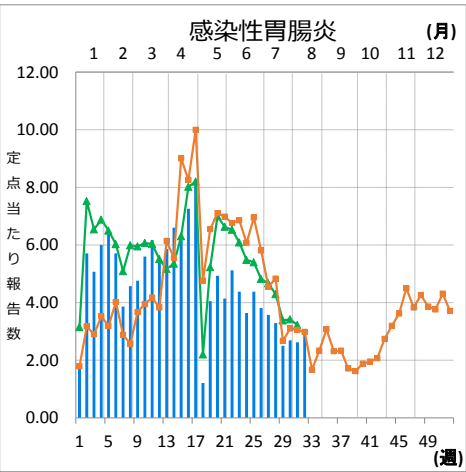
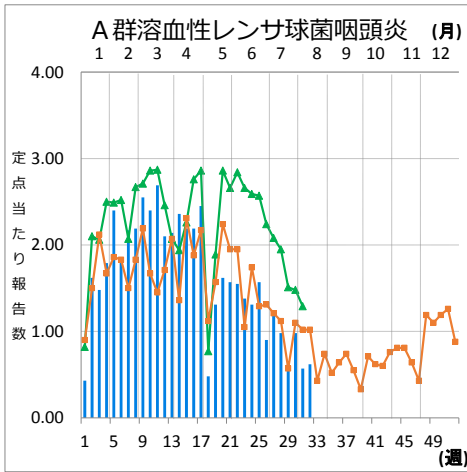
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	1	1	6	2	1	12	1	21	2

分類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	4	25

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第32週、ただし全国は前週）

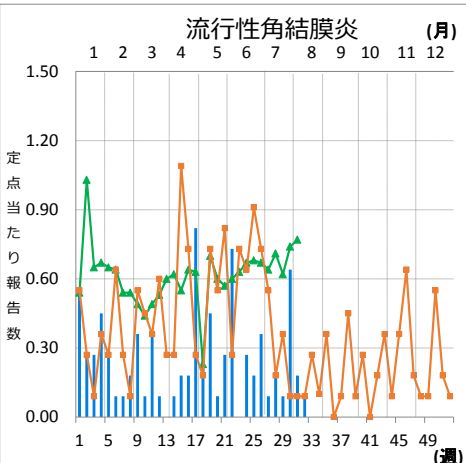
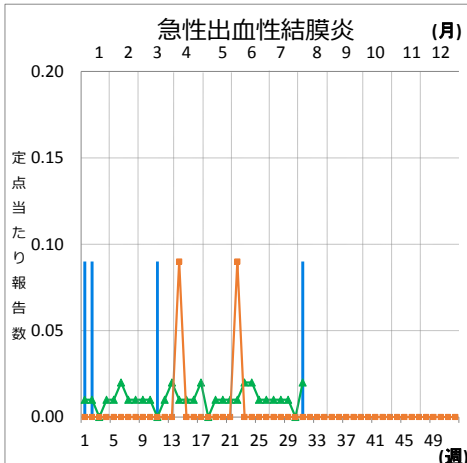
グラフの説明 ← は2019年青森県、 ■ は2018年青森県、 ▲ は2019年全国





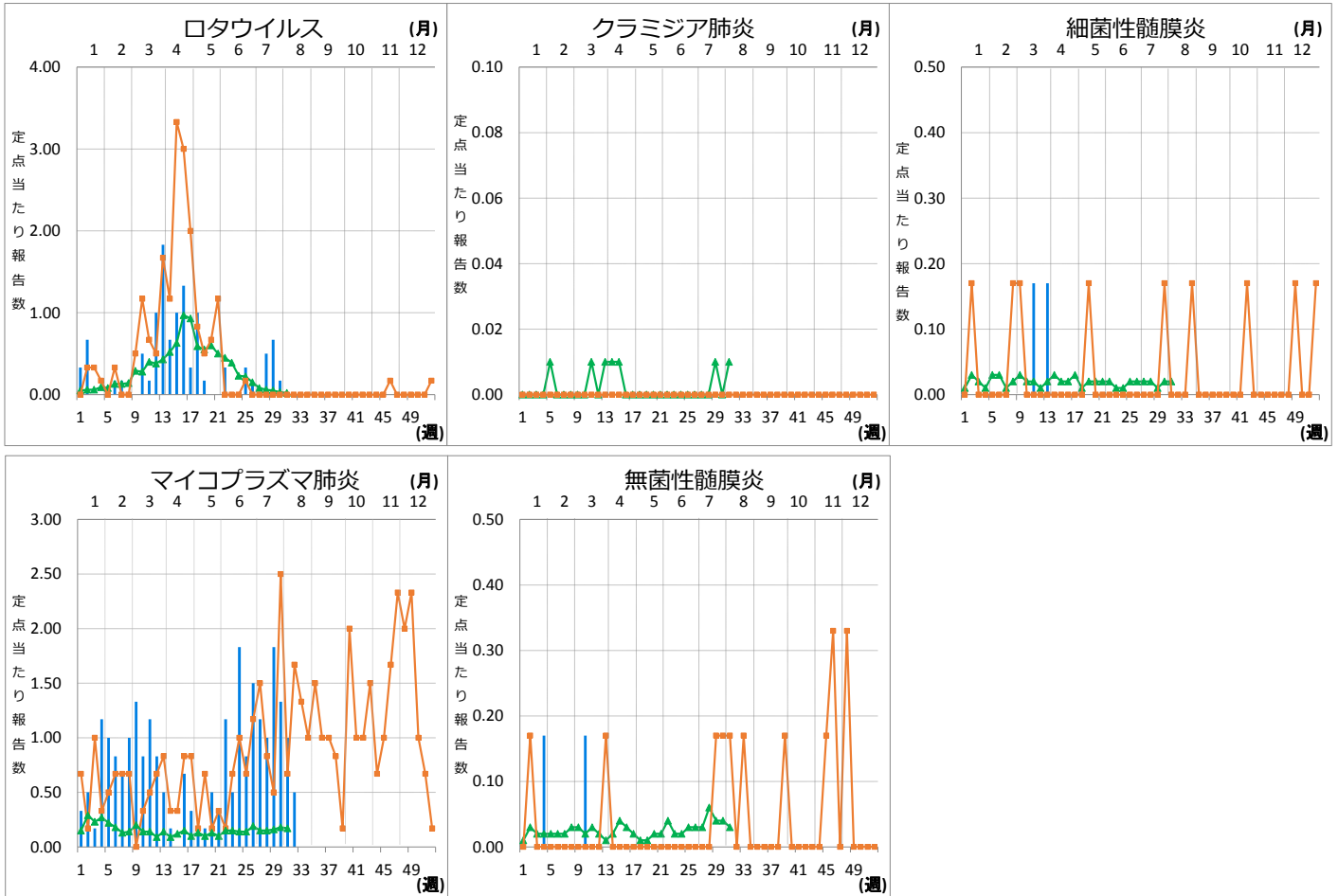
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第32週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2019年青森県、 は2018年青森県、 は2019年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第32週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← 〓は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月2日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第32週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第32週	児童・婦人関係施設等	8	弘前保健所

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27-30週	31週 32週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	0	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	0	0	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	0	1	13
	発症者数	69	47	17	53	14	0	0	8	208
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	0	1	18
	発症者数	98	95	41	160	14	0	0	8	416